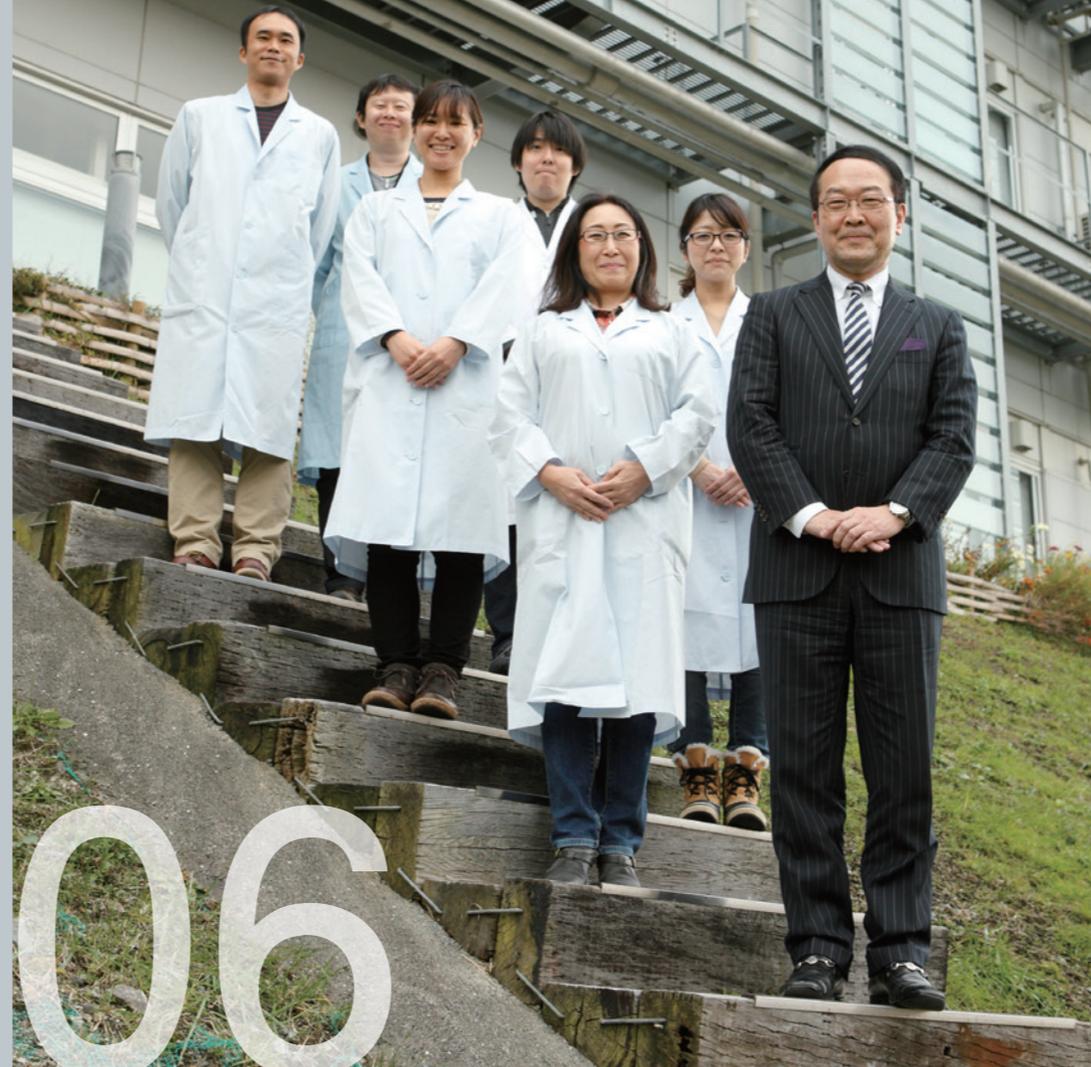


アンジェスMG株式会社

新薬市場における主流は、従来の「低分子医薬品」から、バイオテクノロジー技術を駆使した「バイオ医薬品」へと舵を切りつつある。しかし現在、バイオ医薬品のほとんどは欧米で開発されている。そんな状況に風穴を開けようとしているのが、大阪大学発の創薬ベンチャー、アンジェスMGだ。

創薬ベンチャーのトップランナーは勝利へのラストスパートを切った



創業は1999年。革新的新薬の開発を続けて15年が経った

きっかけは大阪大学医学部が発見した、HGFという肝細胞増殖因子の血管新生作用。これを活用した治療薬「コラテジエン」を開発するためにアンジェスMGは創業した。コラテジエンが実用化されれば足の血

流が極度に悪化する病気、重症虚血肢に対する治療手段となる。やがて壊死して切断に及ぶこともある難病を救えるのだ。また近年、同じ治療薬がリンパ管新生作用も有していることがわかり、これも根本的な解決法のなかったリンパ浮腫疾患の治療剤として期待されている。

「革新的新薬の開発を続けて15年。これまでの道のりは決して平坦ではありませんでした。特にリーマンショックによる資金調達環境の悪化は試練でしたね」と、山田英社長は振り返る。「しかし、ようやくゴールが見えてきました。重症虚血肢を適応としたコラテジエンの開発は、フェーズ3という最終段階に入りました。」国内においては2013年に成立した薬事法改正案も、その追い風となる。この法案によって遺伝子治療を含む再生医療等製品の早期承認が期待できるのだ。「新制度を利用した開発準備は順調です。うまくいけば欧米に先がけて、日本で上市することになります。」

上市されれば
ブロックバスターも
夢ではない

それにしても創薬には何と長い時間が必要なのだろうか。「時間だけでなく、費用も膨大です。創薬ベンチャーが日本で育たないといわれる理由は、おそらくそこにあるのでしょう。研究者の質では欧米に劣らないのに、基礎的なアカデミアの成果を事業に結びつけることがなかなか



角的な視点が得られますから。」さらに山田社長は、医薬基盤研究所の存在にも期待しているという。「今後、基盤研が日本における創薬のリーダーとなっていくでしょう。そうなれば彩都に社屋を置くメリットは、ますます大きくなると思います。」

ね。」単体の売り上げが1000億を超える薬剤のことを「ブロックバスター」と呼ぶのだが、コラテジエンもその可能性を秘めている。海外に一步も二歩も遅れをとっている日本のバイオ医薬にとって、コラテジエンの上市は大きな希望となるに違いない。

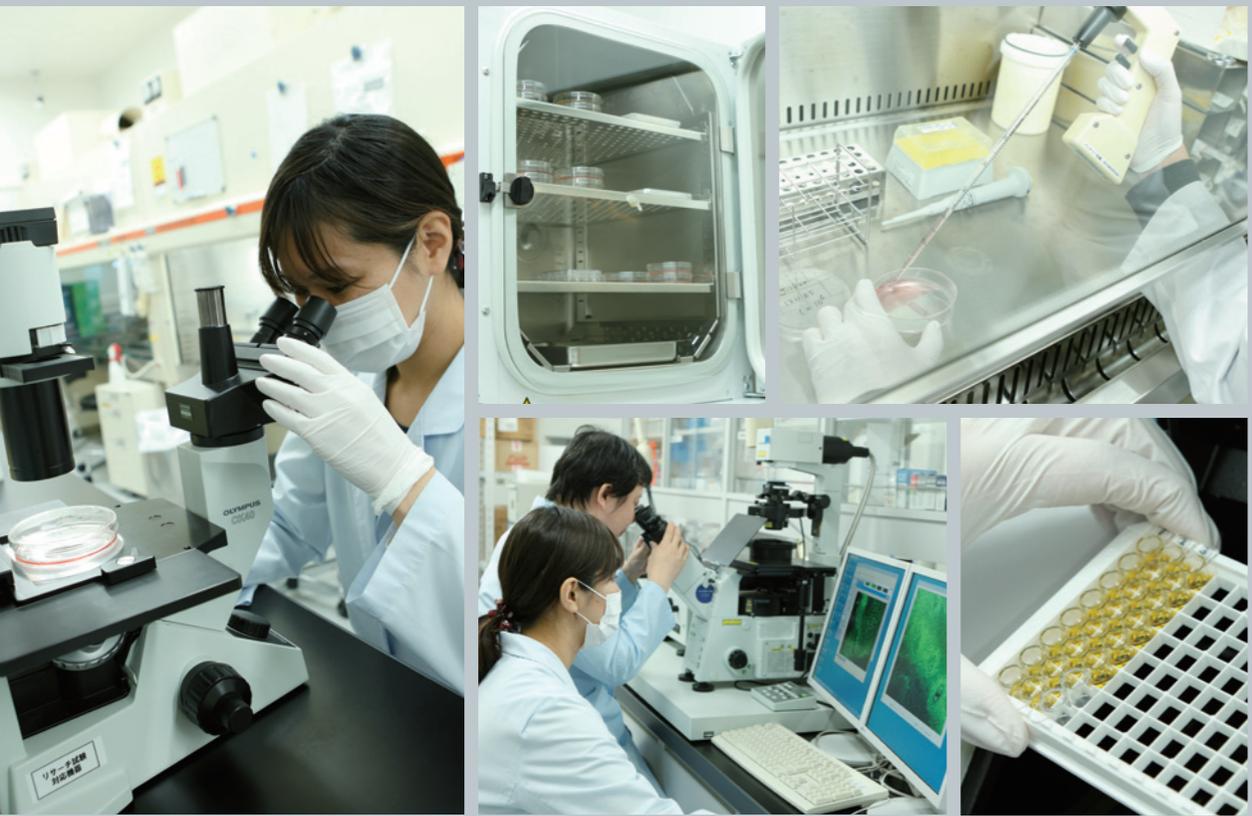
苦しむ人を救いたい…
そのミッションが
投資家の共感を呼ぶ

アンジェスMGの開発バイブラインでトップを走るのはコラテジエンだが、その他にも多くのプロジェクトを抱えている。大型の自社開発品だけでなく導入開発も手掛けており、中には国内で患者数が数名しかないという難病もあるという。「市場規模が小さいので大手は手を出さない事業ですが、だからこそ着手しました。なぜなら、難病の患者さんを救うために研究者が設立した会社」というのが我々の原点だからです。そのため企業ミッションに共鳴する個人投資家も、アンジェスMGには多いという。「我々のスピリットに対して投資いただいている方々の声も、しっかりと聞いていきたいと思っています。」

そんな同社が、彩都に拠点を置いたのは2004年。「大阪大学に近いこと、先進の研究機関が集まるクラスターであること」が魅力でした。イノベーションを実現するには、自分達だけでやってもダメなんです。クラスターにいと自然に多

かできない。」そんな中でアンジェスMGは2002年に上場し、投資家やライセンス企業から多くの支援を集めるといふビジネスを展開している。つまり、それだけ期待されている薬剤を開発しようとしているのだ。

「コラテジエンの市場はアメリカが最も大きい。重症虚血肢患者を対象とした有効な治療薬が開発された場合、市場規模は5000億円に及ぶと推定されています。我々が望むのは絶対に一番手で参入することです



Column
くすりの道修町

大阪の中心部、北船場にあり、寛永12(1635)年に堺商人の小西吉右衛門が薬種店を開いたのを契機に商人が集まったとされる。享保7(1722)年には幕府公認の道修町薬種中買仲問124軒が成立し、長崎貿易による漢薬の仕入れを独占。和薬も含め、全国への流通を一手に担った。明治に入ると薬舗夜学校を設立するなどして西洋医学の導入を図り、薬の化学合成など薬の製造分野にも進出して、日本を代表する多くの製薬大手企業が生まれた。

Company Data

アンジェスMG株式会社
〒567-0085
大阪府茨木市彩都
あさぎ7丁目7番15号
彩都バイオインキュベータ4階
TEL:072-643-3590
FAX:072-640-5819
URL: https://www.anges-mg.com
設立 1999年12月
従業員数 38名(連結)
代表 山田 英